


株式会社 ミラクール
東京都千代田区東神田2-8-15
Tel. 03-5835-3521
Fax. 03-5835-3522

外壁用塗料

弱溶剤系無機塗料

ミラウォールMK (2C)

石やガラスの主成分であるケイ素を多く含有する塗料のため、紫外線劣化に強く、また、プライマーを上塗りと同系色に調色することで隠蔽力が上がり、上塗りが1回で納まります。

【特長】

- (1) 主剤と硬化剤が反応硬化する2液型で、ポリシロキサンを主成分とする高耐候性塗料です。
- (2) 分子間結合が強固で白亜化を起こし難いです。
- (3) 高硬度、高架橋のため、低汚染性に優れています。
- (4) 期待耐用年数は約15年です。

【荷姿】

主 剤 (A液)	10Kg	} 12.0Kg/セット
硬化剤 (B液)	2.0Kg	

- 火気厳禁
- 第2石油類
- 危険等級Ⅲ

【施工上の注意点】

高性能の塗膜を作るために、下記の項目にご留意ください。

- (1) 開封する前に、缶を振って良くかくはんしてください。開封後も内容物が均一になるように、かくはん機等で十分かくはんしてください。
- (2) 気温 5℃以下、湿度が 85%以上、結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- (3) 風の強い日は塗装を見合わせてください。(目安として 5m/秒以上)
- (4) 下地に錆がある場合はケレン錆落としを行い、錆止め塗料を塗布してから施工を行ってください。
- (5) 主剤と硬化剤の割合は厳守してください。配合比を誤ると性能に影響します。
- (6) 下塗り及び上塗りは、必要に応じて塗料用シンナーAで希釈してご使用ください。(希釈率は 5%以内)
- (7) 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良となりますので注意してください。
- (8) シーリング及び高弾性塗膜上に施工するとヒビ割れする場合がありますので、避けて施工してください。
- (9) 未乾燥塗膜上に結露すると、塗膜の溶解やつやびけ等が起きる原因になりますので、結露の可能性のある場合は 6 時間前には塗装を終了してください。
- (10) 塗料、塗料用シンナーAは下水道に流さないでください。
- (11) 容器を密閉し、5℃～30℃の室内で保管してください。冷寒時には、塗料が凍らないようにご注意ください。凍結した塗料は使用できません。

【塗装工程】

ミラウォール MK(2C)塗装仕様 (金属系・窯業系下地向け)

適応下地：鋼板製壁面・金属系サイディングボード、コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

工 程	使用塗料とその処理	塗装方法	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
1 下地調整	ゴミ、埃、汚れ、油分等の付着物や発錆部を、高圧水洗、サンダー、ワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパーで除去して清浄な面とし、十分に乾燥させる。 発錆部はケレン後、SⅡプライマーもしくは強化防錆コートを部分塗布する。 旧塗膜に脆弱層がある場合は、周辺部分を含めてケレン工具を用いて入念に除去する。			
2 下 塗	ミラウォール 2C専用プライマー ※1,2 主剤(1缶) : 7kg 硬化剤(1缶): 1kg 塗料用シンナーA: 5%以内 主剤: 硬化剤 =100 : 14.3	刷毛塗り または ローラー	0.11~0.13 ※3	4H~7D
3 上 塗	ミラウォールMK(2C) 各色※1 主剤(1缶): 10kg 硬化剤(1缶): 2kg 塗料用シンナーA: 5%以内 主剤: 硬化剤 =5 : 1	刷毛塗り または ローラー	0.13~0.16 ※3	-

※1 ポットライフ(可使用時間)は3時間(23℃)です。 ※2 主剤と硬化剤を混合後は、1時間以内に使い切ってください。

※3 下地の種類や状態により、所要量は異なります。

【備考】

※旧塗膜がある場合、適応する旧塗膜の種類はアクリル系・ウレタン系に限ります。

※コンクリート下地の白華除去やジャンカ等の補修は前もって行ってください。

※下地が健全な状態であることを想定しておりますので、下地の状態により塗装工程が異なる場合があります。

※下地の状態、気象条件、塗装条件により所要量や塗装間隔に多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは、所定の塗装間隔を守ってください。

縮み、割れ、乾燥不良、付着不良等の原因になることがあります。

※使用するローラーには、中毛が適します。

[塗膜性能]

項目		結果	備考
乾燥性	指触乾燥	3 時間	23℃
	半硬化乾燥	4 時間	23℃
付着性		分類 1	JIS K 5658 7.11 による
硬 度		F	JIS K 5600 5-4 による
耐 衝 撃 性		異常なし	JIS K 5658 7.10 による
耐屈曲性		2mm	JIS K 5600 5.1 タイプ 1 による
鏡面光沢度		88	JIS K 5658 7.9
耐酸性		異常なし	JIS K 5658 7.14
耐アルカリ性		異常なし	JIS K 5658 7.13
温冷繰り返し性		30 サイクル異常なし	JIS K 5658 7.15
耐 候 性	促進耐候性	60 度光沢保持率 87% 白亜化 等級 0	JIS K 5658 7.16 (XWOM,4000 時間)
	屋外暴露	60 度光沢保持率 96% 白亜化 等級 0	JIS K 5658 7.17 宮古島,南面30度2年間